

# 草ヶ江まちづくりニュース VOL.2

## 第1回九大跡地のまちづくりワークショップの報告 及び第2回ワークショップ参加者募集

跡地の現況調査を通して、さまざまな意見を出し合いました。  
これらの意見を参考に、まち協で今後検討を進めていきます。

※本内容はワークショップにおいて出された意見であり、跡地利用がこの内容で決定されたものではありません。

発行  
草ヶ江校区まちづくり協議会  
福岡市中央区六本松 1-11-1  
(草ヶ江公民館内)  
電話 092-741-7998  
平成21年1月8日発行

### 第1回九大跡地のまちづくりワークショップの報告(H20.10.25開催:「緑や記念碑等について」)

平成20年10月25日(土)、九州大学六本松キャンパスにて「第1回 跡地のまちづくりワークショップ」を開催しました。このワークショップの目的は、六本松跡地の特性を確認し、跡地に対する地域の意見を取りまとめ、関係機関に対するまち協の意見として提出するもので、本年度は3回程度の開催を予定しています。第2回目は歩行者空間や広場・オープンスペース、第3回目は北側敷地の土地利用についての検討を予定しています。

第1回目では、これまでの跡地をめぐるまち協の取り組みや、跡地計画の状況について説明を行い、キャンパスウォッチング、そして提案づくりを行いました。

跡地利用のキャッチフレーズとして、跡地に残る緑や九大の歴史の継承などが出され、また、跡地開発にあたっては、緑豊かなオープンスペースの創造、敷地周りでの既存樹木の保全や遊歩道等の充実などが共通の意見として出されました。意見の詳細は裏面に示しています。

#### ■ 第1回ワークショップのプログラム

<10月25日(土) 10:30~14:30 開催>

##### ①九大キャンパスウォッチング

- 九州大学六本松キャンパス内で、樹木の専門家と一緒に、樹木や記念碑などのウォッチングを行いました。

##### ②ウォッチングのまとめやキャッチフレーズづくり

- キャンパスウォッチングで出た意見を整理し、跡地の将来イメージに対する意見を出し合い、跡地利用のキャッチフレーズについて考えました。

##### ③グループ発表

- 各グループで発表を行いました。

#### ■当日のワークショップの作業風景



### 第2回九大跡地のまちづくりワークショップ、他地区現地調査の参加者を募集します！！

#### ★目的

平成21年4月に九大の移転を控え、六本松キャンパス跡地利用計画(平成19年5月策定)をもとに、跡地のより良いまちづくりを目指して地域の意見を取りまとめるため、ワークショップを行います。

#### ■他地区現地調査

##### ★内容

天神地区など実際に出来上がった街中の歩行者空間や広場、公園等を見て回り、まちの雰囲気やスケール感を実感します。巻尺などで歩道の幅員等を調べたり、カメラで写真撮影したりします。

##### ★日時(雨天決行)

平成21年2月8日(日) 9時30分~13時00分  
<9:00より受付開始>

##### ★集合場所

草ヶ江公民館

#### ■第2回九大跡地ワークショップ

##### ★内容

現地調査の結果を踏まえ、跡地利用における歩行者空間、広場・オープンスペースのあり方などについて、意見を出し合います。

##### ★日時

平成21年2月13日(金) 18時00分~21時00分

##### ★会場

草ヶ江公民館

FAX送信キリトリセン

#### ■現地調査・第2回跡地ワークショップ参加者募集

##### ★対象者

草ヶ江校区、梅光園1丁目、梅光園団地にお住まいの方又は仕事をされている方(定員50名:応募多数の場合、各地区に分散するように抽選します。)

##### ★申し込み方法<締切:平成21年2月2日(月)>

下記申込書に必要事項を記入の上、草ヶ江公民館に持参又はFAXをお願いします。締切の遵守をお願いします。

草ヶ江公民館 FAX:741-5812

(住所:六本松1-11-1、電話:741-7998)

問合せ先:まち協跡地ワークショップ実行委員会

代表:小松 至誠(まち協副会長)草ヶ江公民館

又は 福岡市大学移転対策部跡地計画課

担当:大道寺、前田 電話:711-4154

公民館持参キリトリセン

#### 現地調査・第2回跡地ワークショップ参加申込書

★参加希望に○を付けてください(両方又は一方のみの参加可)

( )現地調査【2/8】 ( )ワークショップ【2/13】

★氏名( )年齢( 歳代)性別(男、女)

★住所又は勤務先住所

( )

★連絡先:電話( - )FAX( - )

e-mail( )

(個人情報適切に管理し、ワークショップ目的以外には利用いたしません。)

■第1回九大跡地のまちづくりワークショップ発表風景(H20.10.25 開催)



■当日に出された主な意見

注：ワークショップにおいて出された意見であり、跡地利用がこの内容で決定されたものではありません。

班	参加者	区分	意見	キャッチフレーズ
A班	6名	残したいもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史ある樹(古木)のいわれを残したい。古木が多く、残したい木がたくさんあった。</li> <li>まちなかの貴重な緑なので残したい、付近住民も樹木に癒されていたと思う。</li> <li>木で遊ぶ、木と遊ぶ。緑の中で人が育つ。木立の中で子どもが遊ぶ。</li> <li>モニュメントは歴史観から見て必ず残す(移動して集約)。</li> <li>四季折々の人のたまり場。</li> </ul>	学びの場であった 地域の歴史の継承と グリーンゾーンの創出
		提案 (道・広場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺樹木はセットバックし、下を遊歩道とする。木に沿って道をつくる。周囲のセットバックで現在の植木はそのまま活用。</li> <li>育ちすぎ、手入れされていない木が多い。</li> <li>もったいないので樹木はできるだけ移植し残す。樹に名前をつける。</li> <li>都市のオアシス、庭。0歳から100歳が集う広場。緑あふれる街並み。</li> </ul>	
		提案 (新しい緑)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「六本松」を表現するみどり。平和の像と九大の歴史の継承。</li> <li>歩こう！ 樹、木、気 あふれる街！遊びの街、楽しい街、明るい街。</li> <li>植物はまとめて一ヶ所に、公園風にしたらよい。庭園を思わせる風情が残っていた。</li> </ul>	
B班	6名	保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地周囲の並木は残す。敷地周囲コーナーの大木は残す。敷地中心部にある樹木は広場、周囲へ移植する。移植できない桜などはその場で残してほしい。楠の交差点ランドマーク。</li> <li>モニュメントは広場に移転する。</li> </ul>	 が同化する空間
		要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>「森」がほしい。九大に代わる文化的な施設づくり。</li> <li>とにかく周囲に広い空地、歩道がほしい。敷地コーナーに休憩所を設ける。</li> <li>敷地中央の広場は可能な限り広く。建物は高くしてかまわないから可能な限り空地を広く。避難場所としての広場。</li> <li>周囲から歩行者がどこでも入れる。東西、南北に通り返けられる動線、道を考える。</li> <li>敷地内への車の乗り入れは極力少なく。</li> </ul>	
C班	6名	保全したいもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地周囲の緑。敷地内の緑。実のなる木。</li> <li>利用できる図書館。亭々舎を残したい(亭々舎を改修する)。一部のモニュメント。</li> </ul>	都会のオアシス 四季を感じる街 子どもが遊べる楽しいまち 木々たちが語る歴史のまち
		改善・提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺に歩道がほしい。安全な道路。</li> <li>子どもの虫広場。木登りなど自然の中で遊ぶ場。高齢者が多いのでお年寄りが集える遊び場をつくってほしい。災害時の避難場所。お年寄りと一緒に過ごせる場。</li> <li>草ヶ江にふさわしい小川。滝がほしい。</li> <li>今後木を切るなどの予定ができた時点で何故切るのかの説明をしてほしい(住民説明)</li> <li>紅葉する樹木を追加。</li> <li>都会にしない、かっこいい施設にしない。→天神、赤坂とは違う。</li> <li>空が見えなくなる高層建築はいらぬ。周辺住宅にも配慮する。</li> </ul>	
D班	9名	保全したいもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>亭々舎(亭々舎の思い出)。青陵の泉。記念碑(基本的に全て)</li> <li>周辺の木々(ニッケの木含む)</li> </ul>	広々とした水と緑の空間
		改善したいもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の木々</li> </ul>	
		新しく提案したいもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>散歩道一周</li> <li>遊、休、智、美のコミュニティセンター</li> <li>子ども(乳幼児)から高齢者まで一緒に集えるスペースがほしい</li> <li>コミュニティスペース希望、乳幼児、小学生、中学生、青年、中高年と時間差で使いまわしながら1日中使えるスペース</li> </ul>	

キトリセン

今回の記事や跡地のまちづくり等について、ご意見、ご感想などありましたら、草ヶ江公民館のまち協ボックスにお寄せください。

氏名 ( )

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

■九大に残る樹木、緑や記念碑など

